議事3 鉄道助成業務に関係する動向(報告事項)

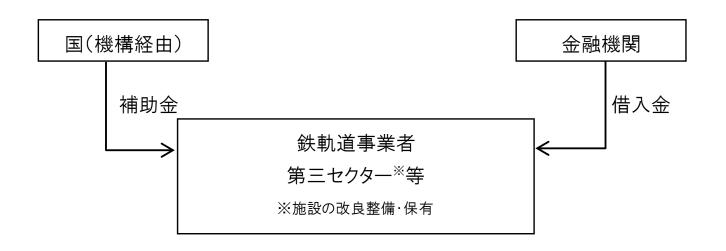
令和4年度 鉄道助成関係補正予算について

(鉄道局計上分) (単位:百万円) 補助金額 項 目 概要 整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金 79 79新幹線列車と貨物列車とが共用走行する青函共用走行区間において、新幹線列車を高速走行させるため、時間帯区分方式の段階的拡大の可能性に係る調査・開発等を行う。 貨物列車走行調查 幹線鉄道等活性化事業費補助(幹線鉄道) 4.170 4,060 JR北陸線加賀笠間〜松任駅間において、白山市松任北安田南部地区土地区画整理事業と連携し新駅設置を行うことにより、公共交通の利便性向上と周辺地域の活性化を図る。 地域公共交通計画事業(新駅設置) 災害時においても可能な限り貨物列車の運行を行うとともに、トラックによる代行輸送を迅速かつ 貨物列車走行対応化事業 110安定的に行えるよう、JR山陽線新南陽駅においてコンテナホームの拡幅、代行トラック用の駐車 場の整備などを行う。 都市鉄道整備事業費補助(地下鉄) 2.356 関西国際空港や新大阪駅へのアクセス性の向上、大阪の南北都市軸の強化など、都市機能の 新線建設 965-層の充実を図るため、大阪都心部を南北に縦貫するなにわ筋線の整備を推進する。 (関西高速鉄道(株)) 地下鉄等の耐震対策、浸水被害の未然防止や拡大防止のため、地下鉄における浸水対策を推 1,391進する。また、駅利用者の移動手段等の円滑化や鉄道駅のバリアフリー化やホームドアの整備を推進する。 安全性向上、バリアフリー化 (東京都 他6件) 鉄道駅総合改善事業費補助 153 鉄道駅の安全性向上、利便性向上に資する施設並びに駅利用者の移動等の円滑化、鉄道駅に 鉄道駅の改良やバリアフリー化 153おける安全・安心を確保するため、鉄道駅のバリアフリー化を推進する。 (東海旅客鉄道(株) 岐阜駅他2件) 鉄道技術開発費費補助 75鉄道橋りょう·高架橋の耐震安全率の設定法の開発等を行う。(鉄道総研) 列車前方検知等の鉄道自動運転に向けた要素技術の開発をする(東芝) 鉄道分野に資する技術開発 6.833

□ 令和4年度補正予算の新規案件について

- 1. 幹線鉄道等活性化事業費補助(貨物列車走行対応化工事)
 - ·補助率:3/10以内
 - ・補助対象:旅客専用線の貨物列車走行対応化(輸送力増強)又は、貨物駅の拠点化のための 鉄道施設の整備に要する経費(土木費、線路設備費、開業設備費、用地費)

○補助スキーム



○ 貨物列車走行対応化事業(JR山陽線新南陽駅)

·補助事業者:日本貨物鉄道株式会社

·全体事業費:約24億円

· 事 業 期 間: 令和4年度~7年度(令和4年度(補正)事業費:約0.4億円)

・事業の概要:

山陽線は、自然災害等により長期にわたる路線寸断の発生のたびに、多くの貨物列車が運休となり、トラック等の代行輸送による物流ネットワークの維持は喫緊の課題である。このため、災害時においても可能な限り貨物列車の運行を行うとともに、トラックによる代行輸送を迅速かつ安定的に行えるよう、「新南陽駅(山陽線)」においてコンテナホームの拡幅、代行トラック用の駐車場の整備などを行う。



(単位:百万円)

	令和4年度	令和5年度	対前年度	
事項	当初予算額	決定額	増減額	比 率
	(A)	(B)	(=B-A)	(=B/A)
1. 整備新幹線建設助成事業	98,104	81,910	△ 16,194	83.5%
(1)整備新幹線整備事業費補助	80,372	80,372	0	100.0%
(2)整備新幹線整備事業資金	16,300	0	△ 16,300	皆減
(3)整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金	1,432	1,538	106	107.4%
2. 主要幹線鉄道等整備助成事業	170	23	△ 147	13.5%
(1)新線調査費等補助金(新線等調査)	0	0	0	-
(2)幹線鉄道等活性化事業費補助	170	23	△ 147	13.5%
3. 都市鉄道整備助成事業	18,162	16,855	△ 1,307	92.8%
(1)都市鉄道利便増進事業費補助	11,568	6,736	△ 4,832	58.2%
(2)都市鉄道整備事業費補助	4,473	8,050	3,577	180.0%
①地下高速鉄道	4,473	8,050	3,577	180.0%
(3)幹線鉄道等活性化事業費補助	0	0	0	_
(4)鉄道駅総合改善事業費補助	2,100	2,055	△ 45	97.9%
(5)譲渡線建設費等利子補給金	21	14	△ 7	66.7%
4. 鉄道技術開発推進助成事業	102	42	△ 60	41.2%
(1)鉄道技術開発費補助金	102	42	△ 60	41.2%
5. 安全·防災対策助成事業	1,158	1,088	△ 70	94.0%
(1)鉄道防災事業費補助	923	923	0	100.0%
①落石対策等	163	163	0	100.0%
②青函トンネル	760	760	0	100.0%
(2)踏切設備整備費補助金	235	165	△ 70	70.2%
合 計 (1.~5.)	117,696	99,918	△ 17,778	84.9%

※国土交通省鉄道局令和5年度概算決定資料を基に作成

- □ 令和5年度予算の主要な新規案件について
 - 1. 鉄道駅総合改善事業費補助【次世代ステーション創造事業】
 - ・補助率:1/3以内(地方公共団体の補助額以内)
 - ※ バリアフリー基本構想に位置づけられた鉄道駅のバリアフリー施設整備については補助率1/2 以内
 - ・補助対象:ホーム·コンコースの拡幅等の駅改良、エレベーター、ホームドア等のバリアフリー施設の整備及び生活支援機能施設(保育所、病院等)等の駅空間高度化機能施設の整備に要する経費(土木費、線路設備費、電路設備費、停車場設備費、駅附帯設備費、附帯工事費、用地費)

○補助スキーム



○あいの風とやま鉄道(株)あいの風とやま鉄道線 福岡駅

補助事業者:あいの風とやま鉄道(株)

·全体事業費:約6億円

• **事 業 期 間** : 令和5年度

・事業の概要 : 福岡駅は、平成29年度から令和元年度までの1日あたりの利用者数が2,004人であり、高岡市策

定の「福岡駅前地区移動等円滑化基本構想」において重点整備地区の生活関連施設に位置付けられており、エレベーター及びこ線橋を整備することによって段差解消等のバリアフリー化を図る。

1 駅概要

〈所在地〉 富山県高岡市

〈駅構造〉 2面3線(単式ホーム1面1線、島式ホーム1面2線)

〈乗降人員〉 2,004人/日(平成29年度から令和元年度の平均)

2 事業内容

福岡駅にエレベーターこ線橋を新設するもの

令和3年度 :パリアフリー基本構想策定(高岡市

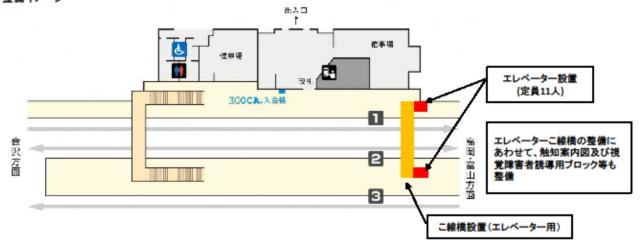
基本設計(高岡市補助により実施)

令和4年度 : 測量・地質調査・詳細設計 (国・県・高岡市補助により実施)

令和5年度~:工事着手予定

3 整備イメージ





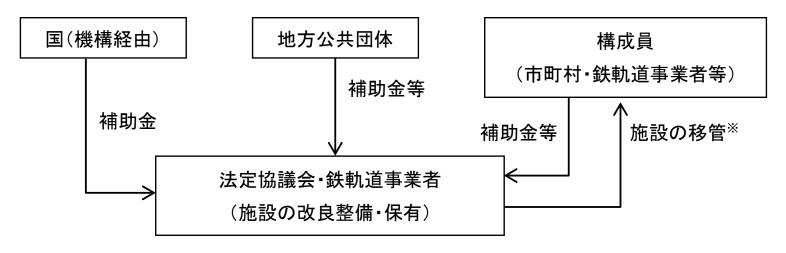
- □ 令和5年度予算の主要な新規案件について
 - 2. 幹線鉄道等活性化事業費補助(地域公共交通計画事業)

·補助率:1/3以内(地方公共団体の補助額以内)

・補助対象:地域公共交通計画に基づく鉄軌道利用者の利便性向上を図るための施設の整備

に要する経費(土木費、線路設備費、開業設備費、用地費)

○補助スキーム



※整備された施設については、法定協議会規約等においてあらかじめ定められた者に移管する。

令和5年度 鉄道助成関係予算について

○ ハピラインふくい

新駅の設置(武生(たけふ)駅~王子保(おうしお)駅間)

・補助事業者:株式会社ハピラインふくい

·全体事業費: 約5億円

·事 業 期 間: 令和5年度~令和6年度

·事業の概要:

ハピラインふくいは、JR西日本から経営分離される並行在来線のうち、福井県区間(大聖寺駅〜敦賀駅間)を運行。開業後、越前市内の周辺居住者や通学利用者の交通利便性向上のため、武生駅〜王子保駅間に新駅を設置することにより、沿線の通学利用者をはじめとする新たな利用者増を図る。

